

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 3月 5日

【事業所概要（事業所記入）】 （外部評価は、東町・西町の両ユニット共通）

事業所番号	2775502814		
法人名	医療生協かわち野生活協同組合		
事業所名	グループホーム よおぎ		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護		
所在地	八尾市八尾木六丁目100番地		
自己評価作成日	平成 22年 2月 23日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	別紙情報提供票のとおり

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	〒546-0035 大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 3月 2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当施設は東町、西町の2ユニットに分かれていますが、どちらのユニットにも自由に行き来できるようにオープンな環境を整えています。また屋上には家庭菜園があり夏野菜の収穫なども入居者様と一緒にこなっています。季節の行事や遠足・外食なども年間行事として取組んでいます。『一人ひとりの遣り甲斐や生きがいを支える介護』をモットーに入居者様の想いや願いに最大限お応え出来るようスタッフ一同目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは、地域の人達により、医療と生活を守って行くことをモットーとしている生活協同組合の一つの施設で、所在地付近は畑の耕作地と一般住宅が混在した静かな地域です。開設は4年前で新築の3階建の3階にあり、共用室は窓側が総ガラスで明るく、遠景が素晴らしい。屋上では、利用者と職員が一緒になって季節の野菜を栽培し、成長過程を楽しみながら、総菜の材料として利用している。又、職員の16名のうち、13名が5年以上の介護経験者であるが、殆どが介護の資格保持者です。特に運営法人の、かわち野生協が職員のレベルアップの研修を重視しており、各施設のみならず、法人全体でも研鑽を重ねていることは特筆すべきことであり、更に、同じ建物の中にクリニックや他の福祉施設が併設されているので、医療面でもご家族、利用者は安心して居るのが現状である。特に、法人全体で管理向上を図って、国際的なISO方式の実施施設となっている。そして、利用者一人ひとりの体調管理もセンター方式で進められ、介護計画に利用している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1. 誰もが自分らしい生き方を 2. 命と人権を尊重する介護 3. 安全、安心の質の高い介護 4. 介護を受ける権利を守り発展させる運動	理念の実践については毎月第3金曜日9.00～11.30に定例の会議を開催し、職員と実践について話し合っている	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	自治会や地域の組合員に支えられており1年を通じて多数の行事や活動に積極的に参加し交流を深めている	地域の自治会の方々と気軽に話し合い、交流が行われている	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人として又職員個人としては組合員とともに取り組んでいるが事業所全体としてはあまり取り組めていない。地域の人から個別に相談のある場合はその都度応じている	/	/
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回取り組みの報告を行い、参加者から率直な意見や要望を伺いサービスの向上につなげていくようにしている	ホーム側の活動報告、質疑応答等以外に、情報交換が行われ、介護向上に活かしている	
5	率	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	八尾市高齢介護プロジェクトチームと連絡を取り、サービスの向上に取り組んでいる	市役所の担当部署の職員と連絡をとり、情報交流を行っている	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについてはスタッフ一同周知しある程度理解はできていると思うが、エレベーターや階段などの施錠は行なっている	身体拘束についての所内及び、法人の研修は適宜に実施している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフ一同高齢者虐待について理解は出来ていると思うが定期的な学習会などは行なっていない		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援事業や成年後見制度について今は対象者がいないので学ぶ機会を持っていないが今後必要となることもあると思うので学習していきたい		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族が納得をされるまで説明している。また質問しやすい雰囲気作りを心掛けている		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会で意見や来訪時に対話して聞いたことは職場会議で報告検討している	ご家族の来訪時や運営推進会議での発言を参考にして、ケアの改善に活かしている	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、すれらを反映させている	職場会議の中で直接意見を聞いたり、事前に意見を聞き会議の議題にして出来るだけ反映できるようにしている	職員からは自由な発言や提案があり、それらを検討し、反映している	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成時には出来るだけ個人の希望を聞き入れ働きやすい職場作りを心掛けている		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外での研修に参加できるように、それぞれに声をかけ職場内に掲示している。定期的に面接時に力量チェックシートで自己を振り返り指導できる機会を持つようになっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	法人内の施設間では交流する機会を持っているが他の同業者とは一部の事業者を除いてはあまり交流出来ていないので地域包括支援センターへも働きかけて交流できるような体制作りを整備していきたい		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	開始段階は出来る限り不安や要望に応えられるよう配慮し施設に慣れるよう気をつけて声掛けしている		
16		<p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	家族が気軽に訪問しやすい様に気をつけている。又、要望や相談など話しやすい雰囲気作りも心掛けている。		
17		<p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	生活歴、認知症など理解したうえで職員で意見交換し、どのような支援が必要か見極め支援していく		
18		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	家事（料理、裁縫）など入居者が出来ることを一緒にして頂いたり季節の行事など色々、一緒に考え進めていく		
19		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	面会時は家族様と過ごして頂き、その都度、家族様から話や意見を頂き家族様と同じ様に接するように努力している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援	日時を気にされることなく訪問して頂き今までと出来る限り変わらない交流を貰えるよう努めている。手紙や電話での交流もして頂いている	過去に生活していた所在の関係者の来訪を歓迎している。又、電話にも対応している	
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○ 利用者同士の関係の支援	利用者間でのコミュニケーションを見守りながら、尚かつ、会話が円滑に、やりとり出来るよう職員が間に入るなど支援する。地域のボランティアの演奏会等も一緒に楽しんでいる		
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			
22		○ 関係を断ち切らない取り組み	家族様に自宅で使用されていた身の回りの品物（思い出の詰まった）を頂いたり、話を、お聞きして日頃の会話に取り入れ利用者に思い出話等をして頂いている		
		サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握	個々の要望等に耳を傾け把握に努めている。一日の流れ等、それぞれの過ごし方を尊重するよう心掛けている	利用者の意向の把握が段々難しくなってきたので、職員同士でどのように把握するか話し合いを行っている	
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○ これまでの暮らしの把握	ご本人の言動により確認したり、家族様や訪問者に機会があれば伺ったり把握していくよう努めている。生活習慣や信仰、家での様子等、会話の中に取り入れている		
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○ 暮らしの現状の把握	利用者全体で行なうことと個々にして頂くことの、めりはりを付け過ぎして頂く。強制したり孤立されないようしている。その時々体調等にも留意する		
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング	安楽に暮らして頂けるように家族様や必要な関係者と連携を取り介護計画を作成している	個々の利用者の症状について、関係者の意向を汲み取り、職員、ご家族と話し合っている。又、記録作成についても改善を図っている	
		本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○ 個別の記録と実戦への反映	日々、どのような事でも記録し情報を共有し介護計画の見直しをしている		
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	併設のクリニックと連携し、適時医療面でのサポートは行なっている。また歯科受診についても訪問歯科に来て頂いている		
		本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○ 地域資源との協働	地域の色々な行事にできるだけ参加、ふれあいを頂いている		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○ かかりつけ医の受診診断	入居時に、かかりつけ医の確認を行ない医療機関への変更を希望される場合、往診、通院の援助を行なう	同じ建物内のクリニックの医師の診察を受けている。入所前からの医師へは、ご家族の送迎としている	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○ 介護職員との協働	法人内の診療所の医師や看護師に相談、また、薬局の薬剤師とも連携を取っている		
		介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院の際には利用者様の身体状況や服薬内容の照会をしたり、入院中に面会に行き担当医師とカンファレンスを行なう等している		
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合などは家族や医療機関と十分な話し合いを行ない方針を共有し、施設の出来る範囲でチームケアを行なっていきたい	入所時の話し合いに従って、医師、ご家族、職員と話し合い、対処している。又、職員全員が情報を共有している	
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時の対応については併設の医療機関と連携し対応できている。また、職員にも急変者の初期対応について周知できている		
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	消防署員の指導のもと避難訓練を行っている。組合員の協力体制も整っており、緊急時の対応に備え今後も定期的に訓練を行っていきたい	年2回消防署員の指導により避難訓練をしている。その際には、近隣の住民、組合員の方々の応援があり、前回には50名以上の参加者があった	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	個人の人格やプライバシーは尊重し超え掛けには気をつけている。居室に入られている場合にも声掛けに気をつけている	個人の尊厳の内部研修会を実施している。言葉掛けについては、職員間でも注意している	
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	希望を表出しやすい環境を作るよう心掛けて対応している。外出の希望などあれば買い物、散歩など同行し可能な限り対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし	一日のスケジュールは決めず一人、一人に合わせて起床し食事をされている。利用者の外出希望に対し外出援助をしている。自由に自室に戻ったりフロアーに来られたりと過ごされている	/	/
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している			
39		○ 身だしなみやおしゃれの支援	隔月に美容師さんに来てもらい希望によりカットされている。パーマを希望される利用者へは外出援助により美容室に行かれる。服も季節ごとに入れ替えし選んで頂く	/	/
		その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している			
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援	利用者のリクエストも伺い、おやつと一緒に作ったりしている。食事の盛り付け配膳、片付けなど出来ることは分担し手伝って頂いている	メニューは利用者の希望にも応じている。炊事は、建物内の炊事場で別組織が、他事業所分と一括して、調理している	/
		食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援	個人の摂取記録を確認し水分量の少ない利用者に対しては好きな飲み物を促し摂取して頂いている。咀嚼機能が低下している利用者に対しては食べやすいように刻み食で対応している	/	/
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○ 口腔内の清潔保持	毎食後、必ず一人、一人に声かけをし誘導し歯磨きや義歯の洗浄をする。認知症の進行により援助が必要な利用者に対しては職員が横につき支援している	/	/
		口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている			
43	16	○ 排泄の自立支援	排泄記録を常にチェックし尿意の少ない利用者には時間を見て声掛け誘導している。	利用者の自尊心を大事にして、排泄の誘導を行なっている	/
		排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている			
44		○ 便秘の予防と対応	腸の動きが良くなるように廊下の往復やラジオ体操などを実施している。排泄記録をチェックし時期を見て便秘薬を配薬し対応している	/	/
		便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	安全にゆっくり入浴して頂くために入浴時間は職員の配置が一番多い時間帯に決めている。利用者の健康状態を観察しバイタルチェックを行なってから入浴を促している。(基本・月～土の午後)	夜のボディケアにも配慮している	
		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人、一人の入眠時間になるまでリビングでテレビ等を見ながらコミュニケーションを取りパジャマへの更衣を促し可能な限り自力で行なうように働きかけ出来ないところは援助する		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	服薬時は職員が必ず日付・氏名を声に出し確認してから服用するまで見守る。変化のあった時は記録している。薬の内容を確認しやすいように説明書をファイルし保管している		
		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	四季に応じた行事、誕生日会、書道、太極拳など企画し単調にならないように工夫している。食事の盛り付け、食器洗い洗濯のたたみ、ゴミ出し等、日常生活に沿った役割を利用者が担っておられる		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望により外出したい時は、職員と一緒にスーパーなど買い物に出掛けている。季節の行事である初詣、お祭り、外食など家族と共に楽しんで頂いている	毎日、外出することを目標としている。スーパーへは職員の買物の際、誘って出かけている。自家用バスを利用しての遠足も、年2回程度行なっている	
		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	本人が管理できている場合は所持され買い物時には本人が支払っている。管理が出来ない場合は施設が管理していたり一時立替ることで買い物を支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	電話は、いつでも取り次いでいる。本人の希望のある時は援助している。年賀状や暑中見舞いを本人が書ける場合は書いて貰っている		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	四季を通じて花を飾ったり、壁に飾りつけをし季節を感じて貰っている。その飾り物も利用者と共に創作し飾っている	共用部分の壁などに、利用者自作の飾り物や、共同で製作したものを掲示している	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにテレビやソファを設置し過ごしやすくする工夫をしている。		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や大切な仏壇、家族の写真、カレンダーなど設置して貰っている	各自で室内は自由に利用している。テレビや仏壇等も持ち込んでいる	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には手すりを取り付け安全に歩行出来るようにしている。トイレ、浴室、自室など大きな字で表示し分かりやすくしている。個人の持ち物にも明記し分かりやすいようにしている		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者と ② 利用者の2/3くらいと ③ 利用者の1/3くらいと ④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くない
66	職員は生き生きと働いている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての家族が ② 家族の2/3くらいが ③ 家族の1/3くらいが ④ ほとんどいない